

Lesson1

お金の問題から即卒業！

豊かな人生を常に受け取る方法

～二人に一人が陥っている貧乏思考とは？～

安田 皆さん、こんにちは。

ナビゲーターのフォレスト出版安田です。

鳥垣 フォレスト出版鳥垣です。弊社では、数多くの願望実現方法やスピリチュアルな方法、自己啓発方法などの教材やセミナー、書籍などを、多数排出してまいりました。そこで、いろいろな結果が出て「現実が変わった」とい

うお声をいただく一方で、どうしてもお金に関してだけは現実が動かない」「現実化しないんだ」という声を多数いただきました。そこで先日、弊社ではアンケートを実施したところ、「実に2人に1人がお金に関して現実が苦しい」というお声をいただきました。そこで今回は、全3話を通して、無料動画で、皆様の一番のお悩みであるお金に関する悩みをどうすれば解決できるのか、お金に関する現実を動かすにはどうすればいいのかということについて、スペシャルな講師をお呼びしてお届けして参ります。

安田 今回、講師としてお呼びしているのが、『宇宙ワクワクするお金の授業』の著者であり、一般社団法人思考の学校代表理事、そして皆様から校長として親しまれている大石洋子さんです。大石さんはこれまで、お金の問題を抱えている方々の悩みをすぐさま解決してきたっていうことで有名なんですけれども、お金の問題だけではなく、それ以外の人間関係、パートナーシップだったり、あとは仕事だったり、お金以外の悩みも全部あつという間に解決しているという、皆さん大石さんのところで学んだ方は思いどおりの人生歩まれているということで、まさにお金のスペシャリストとも言える大石さんを、今回、講師としてお呼びしております。ということで、大石さん、本日はよろしくお願いします。

大石 よろしく申し上げます。

鳥垣 よろしく申し上げます。

大石 私は、今までさまざまな方のお悩みに10年以上乗ってきまして、お金のお悩みっていろいろな、本当にお金にもうかつかつで困ってるんですけどっていう人もいましたし、そんなに困っていないんだけど、もうちょっとお金があつたらなつていう人もいますし、それから、たくさん心理学と



か自己啓発とかヒーリングとか習ってこられて、いろんなことがうまくいくようになったけれど、お金だけはちょっとねっていう方とか、いろんな方今までお会いしてきました、さまざまなタイプの方が、豊かさをしっかり得られるようになってきた方がたくさんいらっしゃいますので、ぜひ安定して豊かさを得ていけるようになっていったのかっていうことをしっかりお伝えできたらなと思っております。

安田 ありがとうございます。

鳥垣 ありがとうございます。

安田 すごい楽しみです。

鳥垣 実際に＜思考の学校＞を運営されていて、既にご相談乗られた方も入れると、もう1万人以上の方を見られてということで、この学校で生徒さんが受けるだけじゃなくて、100名以上の講師さんが、全国で既にもう大石さんのメソッドを皆さんに教える立場にいらっしゃるっていうことなんですけれども。

大石 みんな最初、私のところに受講生さんとして学びにきてくださって、その受講してくださった皆さんが、自分の現実が実際に変わったので、この喜びを皆さんにお伝え、広めていきたいっていうことで、皆さん講師になってくださって、今、活動してくださってます。

鳥垣 個人の方で100名以上の講師の方で全国で活躍されてっていうのって、なかなかないなと思って、

大石 そうだね、ありがたいね。

鳥垣 本当その再現性というのが、すごい素晴らしいなと思ってて、ぜひ皆さんにもそれを、実際メソッドを体験いただいて、お金の悩みをここでもう卒業、解決っていうふうにしていただきたいなというふうに思って、今回お届けしております。

安田 それでは、冒頭でも少しふれさせていただいたんですけれども、この動画見てくださってる方の中で、大石さん初めて知るよという方もいらっしゃるかと思うので、ちょっと大石さんの今まで、今の活動に至ったきっかけであったり、エピソードをちょっとお伺いしていきたいなと思うんですが、先ほどもあったように、＜思考の学校＞はそもそも何きっかけで始められてるんですか。

大石 私の悩みを解決したくて、私が最初に自分で勉強したのがスタートだったんですね。＜思考の学校＞っていう協会は、今4年目なんですけれども、10年ぐらい前からカウンセリングの仕事は私一人でしたんですね。で、来てくださるクライアント様がどんどんよくなっていかれて、それはうれしかったんですけれども、私自身が悩みが晴れなかったんですね。仕事はどんどん順調によくなっていくんですけれども、何か仕事の関連する人間関係のストレスとか、あとパートナーシップがうまくいかないとか、周りの人が幸せになっても自分が幸せじゃないっていうのはどうなんだろうっていうところで、ちょっとこれは自分を立て直さなくちゃなと思ひまして、それでいろんな本を読んだりとか、気になるセミナーに行ったりとか、いろいろ勉強をし直したんですね、

私も。で、その中で、「思考が現実化する」っていうことを最初、本から知りまして、「そっか、全部自分の思考がいろんな現実を作っているんだ」っていうことを一生懸命学んでいったら、自分の人生がすごく、まず不安がなくなったんですね。漠然とした不安がなくなるって、あるんだっていうのがすごく一番うれしかったことで、そのあとから家族との関係がよくなったり、仕事も今までよりもっとやりやすくなって、収入も実際に上がってきましたし、いろんなことがよくなっていったんですね。それで、当時、私の大親友で大貧乏のお友達がいて、そのお友達に真っ先に、私が勉強した「思考が現実化する」っていうことってあるみたいだよって、そういうのを毎晩電話で話してるうちに、その子がど貧乏だったのが、どんどん豊かになっていったんですね。

鳥垣　ど貧乏ってどれぐらい貧乏だったんですか。

大石　もうすごくって、バイトを掛け持ちで三つぐらいやってたんだけど、

鳥垣　女性ですか。

大石　そうです。シングルマザーで、

鳥垣　何歳ぐらいの方で、何やってる方なんですか。

大石　40代で、パート掛け持ち。

鳥垣　40代、パート掛け持ち、シングルマザー。

大石　そう、シングルマザーで。

鳥垣　大変ですね、それは。

大石　そうなのよ。当時、ちょっと悪だったから、その友達がね。

鳥垣　（笑）

安田　（笑）

大石　全身入れ墨で、

鳥垣　全身入れ墨ですか。

安田　結構パンチありますね。

大石　それで、なかなか働けないのね。

鳥垣　それは雇ってもらえない（笑）。

大石　だから、何とか働けるところで働いてたんだけど、いつもかつかつで、しょっちゅうおうちのガスが止められて、

鳥垣　（笑）

大石　あれガスから止められるの、最初ね。

鳥垣 電気じゃなくてガスからってことなんですね。

大石 そうそう（笑）。ガス止められて、あとケータイも止められたりして、っていうぐらい貧乏だったんです。で、その友達が、私が、「思考が現実化する」ってこういうふうに関現化するんだって、だからこういうふうにしたらいいんだって、みたいなことを毎晩電話で話してたんですよ。そしたら、どんどん収入が上がって、職場でもすごく、どんどん地位が上がって行って、今すごく安定して稼げるようになったんですよ。だから、割と社会の底辺にいるような友達がすごく豊かになれたので、この人がいけるんだったらみんないけるんじゃない？と思って、そこから、私の友達に最初話を聞いてもらって、それがだんだん口コミで広がって行って、最後の頃、飛行機に乗ってお話聞きに、「お金の制限をはずす会」っていう名前にして、みんなでどうやったら豊かになれるの？思考が現実化するってどういうことなの？っていうのを話し合うような会を設けてたんですけど、それこそ最初、当時1000円ぐらいの会費でやってたよね。

鳥垣 安い。

安田 （笑）

大石 それに、飛行機に乗って遠くから皆さん来てくださるような感じになって、どんどん会を開催すれば開催するほど、入ってくるお金の額が、臨時収入が皆さん入るようになって、どんどん豊かになって、豊かになる額もどんどん上がっていったんですよ。そんなんで、本当に口コミで、みんなが思考が現実化するってどういうこと？っていうのを腑に落とした人から、どんどん豊かになっていってくれまして、今は、私は基本的にはその会はやってないんですね。その代わりに、認定講師さんが全国で代わりにやってくださってるっていう感じですね。

安田 ちなみに、今お話あった、ど貧乏だった方っていうのは、どんどん変わっていったってことなんですけど、どのぐらいの期間で、いくらぐらい行ったら何ですけど、いくらぐらい変わったんですか。

大石 話し始めて半年もしないうちに、だんだんお給料が上がっていくようになって、それで、パートで働いててどんどん待遇がよくなってお給料がよくなって、最後は引き抜かれて、ほかの会社に行って、社員さんになって、それで50万円ぐらいのお給料をずーっといただけるようになって、もう何年もたってますね。

鳥垣 全身タトゥーのまま。

大石 そうそう。

一同 （笑）

鳥垣 引き抜きに。

安田 最初って、手取りだとどんぐらいから、

大石 十数万だよね。

安田 十数万から、半年で50万ですか。

大石 うん、なった。

鳥垣 すごい。

安田 すごいですね。

大石 でも、お給料本当に3倍とかになった方もいらっしゃいますし、たくさんの方がお給料上がる。あとはご主人さんのお給料が上がるっていう体験をする方もいらっしゃいますね。

鳥垣 今日は特別に先生から、

大石 個別に。(笑)。

鳥垣 個別に皆さんに教えていただけるということで。実際口コミでそこまで広がったっていうことなんですけども、やっぱりそれだけ多分、再現性があるって、そこまで広がったかと思うんですけど、収入が上がるといっても、さっきおっしゃったようにご自身のものが上がるパターンと、夫のパターンとか、あとまた臨時収入とかいろんなパターンあるとか、どういったパターンが多いんですか。まずこの大石さんのメソッドを学ばれて収入が上がる具体的なステップとしては。

大石 あとからご説明するんですけど、一番多いパターンは、臨時収入というかたちでどかっと入りましたっていう方が多いです。で、その次に、自分のお給料が昇級しましたっていう人が、どんどん上がっていきましてっていう人もいますし、それから、専業主婦の方とか、ご主人さんのお給料が上がりましたっていう方がいらっしゃいますね。

安田 会社員の方だと、臨時収入っていうと難しいイメージがあるんですけど、それはどういうかたちで舞い込んでくるのか・・・

大石 やっぱり皆さんそう言うんですよ。うちはサラリーマンだから、お金決まってるから、臨時収入入りようがないんですって言われるんですけど、会社から、何か特別にお金が入るとかね。

鳥垣 (笑)

安田 (笑)

大石 あと、ほかのところから、例えば家族からお金をいただくことになったとか、そういうもう本当にいろんな、とにかく入ってくるという想像がないところから入ってくるっていうことが、実際起きちゃうんですよ。

安田 先ほどもちょっと撮影の前にお話しさせていただいて、この1冊目の本書かれて、これを担当した編集者の方とか、かかわった人もどんどんお金が入ってきたっていうことなんですけども。

大石 はい。その本を作るときに担当して下さった編集者さんのご主人さんも、お給料爆上がりしまして、

鳥垣 何倍でしたっけ。

大石 倍になりましたね。

鳥垣 倍ってすごいですよね。

大石 3倍だったっけ。3倍になりまして、

安田 (笑)

大石 3倍になったのはご本人だ。ご本人3倍になりまして、

鳥垣 編集者で3倍になったんですよね。

大石 そうです。

安田 すごいですよね。

鳥垣 すごいですよね。どんだけ仕事 (笑) 。

大石 だんなさんも倍になった。もともとよい収入の方だったんですけれども、もっとよくなったね。

安田 じゃあもう、2人ともこう上がったってことなんですか。

大石 そうそう。

安田 すごいですね。

大石 だから次、お二人 (笑) 、

一同 (笑)

大石 やっちゃってください。

鳥垣 いや、皆さんも大石先生のね。

安田 見てる方もっていうことですよ。

大石 そうです。

鳥垣 そうですね、大石先生の思考にふれると。

大石 ぜひ体験してください。

安田 楽しみですね。

鳥垣 はい。じゃあ本題のほうに、ちょっと冒頭長くなりましたけど、入っていきたいと思うんですけども、皆さん結構いろんな方法を試されても、やっぱりお金だけはなかなか解決できないっていう方がすごく多いなっていう印象なんですけれども、そこでお金がある人となない人の違いとか、どうしてもお金だけは解決しないというか現実化しないっていう方の原因について教えていただけますか。

大石 やっぱり、こういう動画見てくださったりする方って、すごくお勉強熱心な方が多いと思うんで

すよね。心の勉強とかされてまして、いろんなことがどんどんよくなってこられたんだけど、お金だけはだめなんですよっていう方いらっしゃると思うんですけど、これも本当に、あることに気づいていくとよくなっていくんですけど、うちの〈思考の学校〉に来てくださる方って、お金だけは本当によくなるんですよっていう方もいらっしゃいますし、あと恋愛だけはうまくいかないんですよって言われる方なんかいらっしゃるんですね。で、それって「思考が現実化している」っていう考え方から言いますと、例えば、お金だけはうまくいかないんですよって言われる方は、お金が一番難しいんですよって思ってる、決めちゃってるわけですよね。で、恋愛だけはうまくいかないって方は、恋愛が一番難しいんですよっていうふうに、もう決めちゃってるんですよね。ってことは、これ、自分からすごく遠いところにあるんですよ、っていうイメージになっちゃってるんですよね。だから遠くて手に入りづらいもの、近くにあつてすぐつかめるものじゃなくて、すごく遠くにあるものっていうイメージになっちゃってるんですよね。で、遠くにあるっていうイメージがあるものっていうのは、よく「引き寄せの法則」とかっていう言葉があるじゃないですか。引き寄せたっていいですよ。引き寄せて、この「思考が現実化する」っていう考え方からいうと、私たちっていっぱい思考してるんですよね。1日にもう何万回も、ああだこうだ思考してるっていわれていて、一説によると6万回ぐらい1日にああだこうだ思考してるっていうふうにいわれていて、だから私たちの中には、いろんな考えがもう山盛りあるわけですよね。で、その中で、自分の思考が毎日毎日ああだこうだ考えたことが、ゼーんぶ潜在意識にたまっていくって考えられているんですね。で、そのゼーんぶ、何でもですよ、何気なく考えたこと、すごく念じて考えたこと、どんなこともゼーんぶ私の潜在意識に組み込まれていくっていうふう考えられてまして、だから膨大な量がたまってるわけですよ。

鳥垣　すごい、生まれてからずっとのが、

大石　そう。何億ってね。

鳥垣　録画されたような感じでたまってるってことなんですね。

大石　そうそう（笑）。もうごっちゃに、

鳥垣　思考が。

大石　そう、たまってる、で、そのたまった量に応じて、現実に出てくるっていうふう考えられているんですね。だから、引き寄せたっていうときって、私の潜在意識にすごい量の思考がたまってたということなんですね。たくさん量がたまると、私のすぐ目の前に現れる。で、思考の量がまだ少ないと、すごく遠くに現れるっていうね。私の潜在意識の中にたまった思考の量に応じて、現実にはそれを手にするか、遠くにあるように感じるかっていうのが決まるっていわれてまして、お金だけはうまくいかないんですよって思ってる人は、無意識なんですけれど、お金が自分のところにやってくるっていう思考がちょっぴりしかないんですね。で、その代わりに、お金がいっぱいじゃんじゃんやってくる代わりに、お金がないんですよっていう思考がこんなに山盛り

あって、そっちの現実を受け取っているっていう。お金がやってくるっていう思考の量が少ないのね。ないんですよ、うまくいかないんですよ、の思考のほうめっちゃ多いから、そっちが優先して叶っちゃっている。で、特に気にすれば気にするほど、毎日、手が届かない遠いものなんですよって繰り返し自分に教えちゃってるので、どんどん遠のいていっちゃうような感じになっちゃうんですよ。

安田 ちょっとイメージなんですけど、今のお話聞いて、自分の中にポジティブな箱とネガティブな箱があって、で、お金が舞い込むっていうのは、こっちに、ポジティブなほうにちょっとずつたまるけど、できないなっていうのが、こっちがたまりすぎちゃうから、どっちも現実化するけどっていうことなんですかね、イメージ的には。

大石 そうなんですよ。それで、お金だけはたまらないですよって言ってる人って、すごく欲しいわけですよ。すごく大事に思うわけじゃないですか。大事に思えば思うほど、とつても手に入れたいと思えば思うほど、手に入らなかったらやだ、って思いがめっちゃたまる。

安田 怖いとかも出てくる感じ。

大石 そうですよ。お金に対して怖くなって思ってる方って、結構いらっしゃるので、欲しいはずなのにないって怖いよな、ないってつらいよなっていう思いのほうが、すごく強化されちゃってるんですよ。そこが問題なんだよね。

鳥垣 そこを変えると現実が動く。

大石 そうですね。

鳥垣 でも、そんなこといっても、お金あるあるってアフアメーションもやったり、毎日そういうふうに考えないようにしてるっていう方も結構いらっしゃるかと思うんですけども、それでもやっぱり、「思考は100%現実化する」っていう考えに間違いはないですよ。

大石 そうなんですよ。勉強した人ほどポジティブに考えようとするじゃないですか。で、ポジティブに考えよう、ネガティブを思っちゃだめだって思いますよね。だから、お金がないなんて言わない、みたいなね。思っても言わないみたいなのであると思うんですよ。ポジティブ言葉を使おうって心がけますよね。

鳥垣 ありますよね。そういう教え多いです。

大石 そうだね。それで、ネガティブを、本当はあるんだよ、あるんだけど、ないですみたいな感じで、見ないふりをしちゃうのが一番問題なんですよ。だから、お金がない、怖いとか、不安だっていう思いって、実はすごいあるんですよ。お金が上手にやっこない方っていうのはね。だから、そのネガティブな怖い気持ち、不安でいっぱいな気持ち、ここを、あるのになんかしない。それが一番重要なんですよ。

鳥垣 じゃあ不安があって、よく教えでは不安のほうにフォーカスしないでポジティブを見なさいみた

いな感じだけど、

大石 あるよね。

鳥垣 ネガティブを放置してポジティブにフォーカスするのではなくて、まずはネガティブをちゃんと直視しないとイケないってことですか。

大石 そう。見ないふりしてるときが、一番気にしてるんですよ。

鳥垣 (笑)

安田 でも、すごい、ちょっとそれ分かる。人を無視するとかもおんなじですよ。気になるから無視するってことですもんね。

大石 そうそう (笑)。だから、気にしないもんって言ってるほど、めっちゃ気にしてるもんっていうことになっちゃうから、実際は潜在意識の中にどんどん思考がたまってるんですよ、このネガティブなね。不安だな、これからどうなるんだろうとかってというのが、どんどんたまっていつちゃって、実はお金欲しいと、本当は欲しいのに、こっちの思考対してたまらないんですよ。やばい、どんどんなくなる、みたいな。どんどん不安になる、みたいなほうが、毎日思考が増えちゃっているから抜け出せないって方が多いよね。

安田 今で少し気になったんですけど、「思考は100%現実化する」っていうので、ポジティブなほうを考えたほうが、そっちが現実化するのかなって思いそうな、なのでネガティブを直視してしまくと、そのネガティブなのが現実になったらどうしようっていうのはないんですか。

大石 一番大事なのは、私たちはお金がうまく流れがよくないときに、どんどん増えているネガティブを止めてあげるのが一番大事なんですよ。だから、ここを見ないふりしてプラスを、ポジティブなものを一生懸命増やそうとしたって、こっちがとにかくどんどん増殖していくのを止めることが一番大事なんですよ。

鳥垣 ポジティブを見てても、ネガティブはなくならないってことなんですね。

大石 そう。無視すればするほど、無視しないでよっていうふうに、ネガティブがどんどん主張してくるんですよ。

安田 むしろ増えるみたいな感じですか。

大石 そうそう。

安田 怖い (笑)。

大石 だから、ここ直視してあげて、だから怖くて見ないわけでしょう？嫌すぎて見ないわけだから、一回直視してちゃんと棚卸しをしてあげる。この中、ブラックボックスこうなってたんだっていうふうに、正体をきちんと理解してあげる。そうすると、得体の知らない不安だから、どんどん膨らんじゃうんですよ。その得体の知らない不安をストップさせてあげないとイケなくて、そのためには、どれどれって、今まで見ないふりしてきたけれど、実は私の中には、お金がなくなっ

たらどうしようとか、お金が全然たまらない、この先不安だなとか、めっちゃネガティブがめっちゃめっちゃあったわってところを、ちゃんと受け入れてあげる。そうすると、むやみやたらに膨らまないんですよ。わかってくれたの？みたいな感じで、

鳥垣 無視しないで受け入れると。

大石 そうそう。落ち着くんですよ。無視すると恐ろしいものになっちゃうのね。モンスターになっちゃうんですけど、ちゃんと見てあげて、こういうことを私は恐れていたんだな、こういうことに怒りがあったんだなとかっていう、お金にまつわるネガティブをきちんと受け入れてあげる、それができると、勝手に膨らむ、増えるが、ぴたって止まるんですよ。この、ぴたって止まってくることがめっちゃめちゃ重要。じゃましなくなるんですよ、止まってくれたら。そのうえでポジティブを、思考をためていくことができると、やがてポジティブのほうがおつきくなって、ネガティブは成長止まったから、ポジティブがどんどん増えていくわけだから、思考が少ないものは遠くに現れて、思考が多いものは私の現実、目の前にやってくるので、逆転するんですよ。逆転して豊かになる、お金がやってくるって、本来欲しかった現実のほうが入るようになるんですよ。思考の総量だから、お金が欲しいのに入らないっていう人は、潜在意識の中の思考の総量が、実はお金がなかったらどうしよう、どんどんお金がなくなるとかの、ネガティブのほうがたくさんになっちゃって、日に日にどんどん多量になっちゃってた。だから、これを止めてあげる、ぴたっ、もう増やさない、そのためにはこの中をしっかりと棚卸ししてあげて、もう勝手に暴れさせない。で、ぴたっと止めてあげて、落ち着かせてあげて、そのうえでプラスの、本当はこういう現実が欲しいんだよねっていうことを着々とためていく。そうすると、ちゃんとよいお金の循環を作っていけるようになるんです。

安田 ちなみに、成長が止まったほうは少ないから遠くに現れるっていうのあったと思うんですけど、具体的に、でも結局現れちゃうのかっていう、

鳥垣 不安（笑）。

安田 また不安になるみたいな（笑）。

大石 とにかく総量なので、これを消滅させる必要はないんですよ。どんな経験にも無駄はないと思うんですよ。例えば、自分が苦しい思いをしました、そのことで人の痛みがわかるようになったりしますよね。だから、やっぱりこの経験があるから、ほかの誰かが苦しんでいるとか、困っているときって「わかるよ」って言えるんですよ。やっぱりその経験ないと、ばかじゃないのっていう（笑）、何でそんな簡単なことができないの？ってなるじゃないですか。だから本当、これが消滅させるっていう必要はなくて、暴れさせない、むやみやたらに増やさなければ、そうだよ、私もそういう経験したからわかるよっていう、人間的な深みとして大事な部分になるので、増やさなきゃいいんですよ。それで、あとは自分の欲しい、プラスのポジティブな現実をるるるんって想像できるようになると、こっちがどんどん優位になって、かなってってくれるって

いう感じなんですね。

安田 お金が増える現実が目の前にきて、こっちにあった、遠くにくるのは、例えば私はお金あるけど、お金がないって人がいるなっていうのは遠くの現実になるんですか、一応。

大石 だんだん、例えば最初の頃はさ、頃はさ、とかいっていい？（笑）。

安田 （笑）

鳥垣 頃？

大石 いやいや、こういうしゃべり方で（笑）。

一同 （笑）

大石 頑張ってるのにお金がうまく回らないんですっていうときは、自分の周りに、私は心がけてるからお金がないなんて言葉言いません。だけど、私の周りの友達とか家族がお金がない言うんですよ。だから、自分の周りに現れる人が私の思考を反映してる人たちって見るんですね。だから言わなくても、心の中で、実はお金ない、お金ないって隠し持ってるから、周りの人がお金ない、お金ないって言う感じなんですね。で、この仕組みがわかって、ちゃんとネガティブを大事に扱ってあげられるようになると、周りの人がお金ないって言わなくなってくるんですよ。で、だんだん周りの人が、お給料上がったとか、だんだんいい感じになっていくから、周りの人が豊かになってくるっていうのを目撃するようになる。で、どんどんそれが遠のいていく感じになって、最後には、自分の周りにそういうど貧乏な人とか、お金のことでめっちゃ困ってる人とかが現れなく、だんだんなってきて、例えばテレビで貧乏生活とかの人を見かけたとか、ああいうのってあるよね、みたいなふうに、だんだん自分の現実から遠くなっていくっていうふうに、現象としては現れますね。

安田 そういうあれなんですね。

大石 うん。

鳥垣 冒頭で、自分の不安のメソッド、あれで不安がまずなくなったみたいな感じでおっしゃってましたけど、やっぱネガティブがあっても、気にならなくなるってような感覚なんですか。

大石 そうそう。だから不安はあっていいんですよ。あってよくて、仲よくできるっていうのかな。得体の知れない、勝手に暴走するものじゃなくなればいいんですね。

鳥垣 確かにこれが暴走してると、いいことを想像してても足引っ張られる感じが、そうはいつでもなくて、ずっとありますよね。プラスのことを考えても信じきれないというか。

大石 そうですよ。

鳥垣 そういう状態に皆さんがなれるということで。

大石 はい、なれます。

鳥垣 じゃあそろそろ、さらに本題のほうに入っていきたいと思うんですけども。そこで、今まで見てこられてお金がない方、どうやってもお金がなかなか手に入らないっていう方の具体的な特徴とかがあってあたりしますか。

大石 はい。いろいろあるんですけど、おつきく言って2種類あるかなって思うんですけど、皆さん仕事をしてお金を得るっていう方が、これ見てくださってる方、大半なんじゃないかなと思うんですけど、1パターンは、能力がとってもある。能力がとってもあって、お仕事とってもよくできる。だけど、会社で評価されない。正当に評価されなくて、ちょっとしかお給料もらえないとか、あとは、せっかく能力があるのにうまくつぎ合いができなくて転職しなきゃいけなくなるとか、上手にそれを生かしてお金に変えることができないっていう人が1パターン。で、もう1パターンは、もうちょっとちゃんと働こうよっていう（笑）

安田 （笑）

鳥垣 （笑）

大石 もうちょっと頑張ろうよ、何で頑張れないのかなっていう感じの人と、2パターンあるかな。本人も頑張りたいと思うんだけど、やる気がわく仕事に出会えないとか、これが自分の本当の仕事じゃない、みたいな感じで、もっと頑張ったらいいのになって、はたから思うような、そういう方と2パターンあるかな。

鳥垣 この2パターンとも、大石さんのメソッドでは解決されて、お金が入ってくるようになるということなんですか。

大石 はい。

安田 逆に大石さんのメソッド学んだら、例えばお金の悩みであれば、お金の悩み解決しないっていう人は、今まではいなかったんですか。全員ですか。

大石 スピードの差はあります。すごいもう、一回で、「お金の制限をはずす会」って、そのシェア会に出てくださって、もう帰ってすぐ臨時収入入っちゃいました、みたいに、くるって変わる人もいれば、時間かけて、1年ぐらいかかったりして、やっと臨時収入入りました、みたいな方もいらっしゃるし、スピードは違うね。ただ、早い人が多いけどね。

鳥垣 どれぐらい、遅くてもじゃあ1年っていう感じで、早い方だと、もうそれを受けて、

大石 そうですね。いや、1年かからんよね。

鳥垣 1年かかるとまれ。

安田 遅くともってことですか。

大石 うん。

鳥垣 1年後にはもう、お金の問題をみんなが解決してるっていうような認識で間違いはないですか。

大石 しまししょう。

安田 結構、最初の冒頭にもあった、フォレスト出版のアンケートで、お金の悩みがあるっていう方が、何年ぐらい悩んでますかっていう質問もあったんですけど、10年以上悩んでるっていう方が、

大石 すごいね（笑）。

安田 ほぼほぼ、多くて。

鳥垣 本当、私も申し訳なくて、何とかしなくては、と思っって。

大石 （笑）。本当ですね。

安田 それが、1年でっって思ったら、かなり。

鳥垣 皆さんがこれで本当にお金の問題を卒業というか、もう一生お金のストレスフリーで生きて、本当にやりたいことをやっぱり実現するのが人生だと思うので、そういったふうになっていただければと思うんですけども、次ですね。で、お金がない現実がやっぱり目の前にあるということは、それを作り出している思考が、それだけその人の中にあるってということなんですけど、とはいってもそんなお金に関する問題ないよ、みたいな、思考の問題ないよって思う方もいらっしやると思うんですけど、どこら辺を具体的に見ていけば現実が動きますか。

大石 お金と一見関係ないように見えるかもしれないんですけど、人間関係のことを見直しすると、とってもスムーズにお金の流れがよくなるっていうことがたくさん起きます。

安田 人間関係っていうと、具体的にどういいうのがですか。

大石 主には、最終的に振り返っていただくのは、ご両親との関係を見ていただくことになります。あと、ほかにもご主人さんですとか、パートナーですとか、身近な周りの人との人間関係も見直していくことになるんですけど、何か関係なさそうですね。

安田 いや、なさそう。

鳥垣 今、両親って聞いて、多分、仲いいよって、仲いいけどお金ないよっていう方と、やっぱり親はちょっと、みたいな、多分2パターンに分かれるかなと思うんですけど。

大石 そうですね。仲がよいけれどお金が入らないっていう人も、また独特のご両親との見直したらいいパターンもあるんですね。

鳥垣 いいからお金が入る、イコールではなくて、もうちょっと深いものがあるということなんです。

大石 そうね。仲悪いより、いいほうがいいけど。

安田 （笑）

鳥垣 （笑）

安田 で、自分の思考が、親からきてるっていうことなんですか。結局、仲がよくても悪くても、親の考え方を自分がしちやってるみたいな感じですか。

大石 っっていわれますよね。私たちって、親がこういう考え方だったから、私がこういう人になっちゃったんだよねっていう考え方じゃないですか。で、この「思考が現実化する」っていう考え方って、この逆なんですよ。私の考え方がこういう両親として現実に現れているっていう、ちょっと不思議な考え方なんですけれど、でも私も実際に経験してまして、私はこういう思考のこと知るまで親とめっちゃめっちゃ仲が悪かったんですよ。

鳥垣 どれぐらい悪かったんですか。

大石 親に内緒で結婚しちゃったぐらいだから。

安田 すごいですね（笑）。

鳥垣 それはすごい（笑）。

大石 今は仲よしですよ。それで、親が悪くて私こんななっちゃったんだみたいに（笑）

安田 （笑）

鳥垣 （笑）

大石 思ってたんですよ。で、会えばもうけんか。だから会いたくなかったんだよ、ぐらいな感じで全然うまくいかなかったんだけど、この思考のことを見直すようになって、そしたら、前は私の親は、私が何か言ったら全部反対してくる人っていう、私は思っていたの。何言っても反対される、だから嫌いだみたいに思っていたんだけど、この思考を見直したら、親が今までは会うたびに、会えばだめ出しされて、会えば何でもだめっていう感じだった親が、全然、もう180度態度変わって、すごく優しくって、何でも応援してくれる親に変わったんですよ。うそみたいだけれど、これ本当皆さん経験するんですね。

鳥垣 皆さんが経験されるんですね（笑）。

大石 そうなんですよ。

鳥垣 思考が変わると本当に現実が変わるっていうこと。

大石 そうなの。だから、本当に今までたくさんの方ご相談に乗ってきて、もう本当、うちの親はひどいんですよ、みたいな方もたくさんいらっしゃったんですけど、そういう人たちも、じっくり小さい頃のこととか、みんなで振り返って考えてみると、どこかで必ず、お父さんとお母さんに実は愛されてたんだ、みたいな、なってくるんですよ。逆を言うなら、その気持ちが変わってきたときに、お金の流れって変わるんですよ。これ、潜在意識の特徴がそういう働きになってるんですけど、潜在意識って特徴として、主語がわからないっていう特徴がありまして、で、小さい頃、大体6歳、7歳ぐらいまでに感じたことがベースになって、私たちってものごとを考え

てるらしいんですね。で、小さい頃に深く交流するのって親じゃないですか。だから、お父さん、お母さんのことをどう思っていたかっていう、それが、自分が大人になってもそのイメージで世界とつき合う感じになるんですよ。で、小さい頃って、まだ視野が狭いじゃないですか。だから、お父さん、お母さんが本当はいっぱい愛情をかけてくれていたんだけど、子どもからしたらそれがくみ取れない、わからないことって結構あるんですよ。例えば、お父さん、お母さんは子どものことを愛しているから叱るってありますよね。野放しにしておいたらとんでもない暴れん坊のいぼりん坊になっちゃうから、それはだめって言って、かわいいわが子だからこそ、ばしって叱るってあるじゃないですか。だけど、子どもからしたらそれはすごくショックなこと。お父さん、お母さん、私のこと嫌いなんだ、愛してないんだ、みたいな勘違いをしちゃったりですとか、あとは、今度お父さんはあんまりおうちにいない人が多いですよ。それは家族を養うためじゃないですか。で、お外にいて、子どもたち元気にしてるかななんて思いながら働いてくれてるわけですよ。だけど、子どもからしたら、お父さんはおうちにいないで、自分はほっぼられっぱなしで、自分のことなんかかわいくないんだなみたいに、こういう勘違いをみんな、どんな人でも多少なりしてるんですよ。で、もう忘れてるよ、大人の私たちは忘れてるんだけど、その子どものときの記憶として、お父さん、お母さんから愛情が十分にはもらえなかったとか、足りなかったよ、なかったよっていうふうに、何か思っちゃったのね、小さい頃に。で、私たちは大人になって理性が働くようになって、もういい大人になったから、お父さん、お母さんにはよくしてもらったって思ってるよね。思ってるんだけど、それはあくまでも表面上の私なんですよ。で、その小さい頃の記憶に基づいちゃってるので、もう小さい頃に思ったことも、ゼーんぶ潜在意識に入っちゃってるんですよ。だから、そのちっちゃい頃に思った勘違いで、私は愛されてないんだ、大事にされてなかったんだ、愛が足りなかったんだっていう、この足りないとか、ないっていう、愛情が。っていう思いがベースに入っちゃってるのよね。で、さっき申し上げましたように、主語がわからないっていう潜在意識の特徴があるので、愛が足りない、愛がなかったっていう、この愛がっていうところが抜け落ちちゃって、お金が足りないとか、お金がないとか、これ、でもお金だけじゃないんですよ。チャンスがないとか、人脈がないとか、運がないとか、どんなことにも応用されちゃって、だから、もう一番小さい頃の考え方のベースに入ってしまった、愛情がなかった、足りなかったっていう、子ども視点の勘違いですよ。ここを解いてあげて、いや、実はいっぱい愛してもらってたんだな、いっぱい大切にしてくわいがってもらって、与えてもらってたんだなっていうところに気づくと、そこのベースのところはなかった、足りなかったから、やっぱりあったよね、愛があったよねっていう気持ちに変わったときに、おんなじように、ほかのことも変わるんですよ。潜在意識には主語がわからない。だからそこで、あれ？お金あったんだっていう、これが臨時収入として現れるっていうことが本当に起きるんですよ。

鳥垣

これ、毒親って呼ばれる方とか、DVの親でも、やっぱり愛されてたって気づけるんですか、実際に。

大石 いらっしゃいます、やっぱりそういうご相談来られる方ね。で、最初はやっぱり葛藤があるんですね。うちの親はちょっとほかの親と違くて、すごくトラウマがあつて。ただ、そういう方も、ゆっくり話し合っていくと、やっぱり確かに愛情あつたんだなっていうふうに感じられるときがくるのね。実際にそういう方もいらっしゃいました。

鳥垣 じゃあやっぱりなかったっていう、幼少期の勘違い、親は多分、親なりにいろいろ精いっぱいやってるんですけど、それを子どもがやっぱり全部見えないから勘違いして、愛されてなかった、なかったっていうのが今の現実、お金がない現実の原因の一つになっている。

大石 そうなんですよ。

鳥垣 結構大きい原因の一つになっているんですね。

大石 大きいですね。

安田 でも、お金がないって今、自分で自覚してたり、お金がないっていう悩みを持ってますってもう言えちゃう人は、仲いい悪い関係なく、とりあえず親との関係性っていうか、そのときの自分が親にどう思ってたかっていうのに気づけてないってことになるんですか。お金がない時点で。

大石 そうそう。やっぱり、みんな一回はそこを見直したほうがいいね。

安田 お金がないって、今そういう問題に直面している方っていうのは、親と仲がいい、悪いとかは関係なく、親との関係は見直したほうがいいよっていうこと。

大石 そう。

安田 仲悪いって今言えると、見直すところあそこかなってすごいわかるかなと思うんですけど、仲がいいなって思っていると、どこ見直すんだろうってなるなと思ったので。

大石 確かに。すごい仲悪いほうが、見がいがあがるよね。

一同 (笑)

大石 で、仲がいい人は、これはちょっと見るところが違って、心のちょっとした働きなんだけれど、どっか、うちはすごーくめっちゃお母さんと仲いいんですよ、とかっていう人っているじゃないですか。どこかに見下しがないかなってチェックするといいんですよ。例えば、うちの親ちょっとみたいな。

一同 (笑)

大石 何かちょっと言えば買ってもらえるんだよね、とか、何かちょっとお願いすればどうにかなるんだよね、みたいな。

鳥垣 こうやって扱っとけば大丈夫だみたいな、上から視点みたいな、コントロールしてるみたいな。

大石 そうそう (笑)。どこか、

鳥垣 見下し。

大石 親をちょっとなめてるっていうのかな、下に見てるっていうか、必ずもっと今より収入増やしたいな、もっと豊かになりたいなって思ったときには、あとからまたワークとかでしっかりご説明しようと思うんですけど、周りを下げている、見下している気持ちがどこかに隠れてないかっていうのを見ていくといいんですね。だから、お父さんとお母さんと仲いいんですよって言って、実はすごい、やつらはどうにでもなるんだよねみたいな（笑）、

一同 （笑）

大石 気持ちを、何か隠し持っている可能性があるのね。そこを見直しして、もう一回ちょっと心の中で、お父さんとお母さんは偉大な人だなって改めて尊敬する気持ちっていうのを確認できると、変わってくるね、現実が。

安田 では、大石さんありがとうございました。

大石 ありがとうございます。

安田 それでは本日、レッスン1はここまでとなります。レッスン1はお金の問題、何で起こるのかだったり、潜在意識でこういうふうに思考ってたまって、現実がこうやって現れるんだよっていうところをお話聞いてきたんですけども、鳥垣さん今日いかがでしたか、レッスン1。

鳥垣 やっぱり、量によって距離が決まるっていうのがすごくわかりやすかったな。私も引き寄せの法則とかいろいろ本を読んでたんですけど、ためていくのが大切っていうのと、あと、こっちを見ないようにするのではなくて、暴れさせないようにちゃんと凝視するっていうのが大切だなっていったのと、あと、お金がない人、できる人でもやっぱりお金がないっていうことがあるんだな、能力がある人でも評価されないからお金が入らないっていうパターンも結構あるんだなっていうのを聞いて、すごい結構衝撃だったんですけど、一番衝撃だったのは、大石さんの親の話（笑）

一同 （笑）

鳥垣 結婚を言わないでやっちゃった話が（笑）

安田 ありがとうございます。ということで、今回の無料動画は全3話でお送りする予定なんですけど、すべてにコメント欄をご用意しております。そこに、動画見ていただいて気になったことだったり、ご質問だったり、ちょっとわからなかったことでも感想でもいいので、何でもいいので書き込んでいただけたらと思います。で、そこにきたご質問は大石さんが、

鳥垣 よくある質問にはご回答いただけると。

大石 はい。私もお答えさせていただきたいと思います。

安田 なので、そんなところも楽しみながら、コメントをぜひ書いていただいて、次回のレッスン2を楽しみにしていただけたらと思います。次回のレッスン2では、今日お伝えした内容の、具体的にじゃあどうやって、やり方っていうところを、

鳥垣 ワークですよ。

安田 実践ワークをお伝えしていただけるってことなので、楽しみにお待ちください。それでは、
本日も長いお時間見ていただきありがとうございました。

大石 ありがとうございました。